

おかねのヒント

みんなで学ぼう

知るぽると

www.shiruporuto.jp

金融広報中央委員会

子どもたちはお年玉やお小遣いを通じてお金とのつき合い方を学びます。数枚の百円玉を握りしめて遠足のおやつを買ったことや、お年玉で何を買おうかとわくわくしたことを懐かしく思い出される方も多いのではないのでしょうか。

現在の学校教育では、たとえば、小学校3・4年生の「社会科」で生産や販売にたずさわる人々の工夫を、また、5・6年生の「家庭科」で身の回りの物や金銭の計画的な使い方を考え、学ぶことを学びます。そして、2008年3月および2009年3月に公表された新しい学習指導要領では、小学校、中学校、高等学校の各学年や教科で、お金や経済に関する学習を充実していくことになっています。

お金にかかわる知識は現実の社会で生きていくために必要です。こうした知識を多くの子どもたちに体験を通じて楽しく学んでほしいという願いを込めて、金融広報中央委員会では、学校の先生方や中高生などを対象とした作文・小論文コンクールを開催しています。

第6回「金融教育を考える」小論文コンクール（教員等向け）では、金融教育を独立教科とし、一貫教育で扱うことを提言した作品や、小学校や中学校における金融教育の実践内容を紹介した作品が受賞しています。また、第42回「おかねの作文」コンクール（中学生向け）や第7回「金融と経済の明日」高校生小論文コンクールでは、身近な題材をもとにお金や経済について深く考察した作品が受賞しました。

多くの優れた作品や金融教育に役立つ教材などが掲載されていますので、知るぽるとのホームページをぜひご覧ください。